

J2に旋風起こすか？スクエア、Venus!

昨年のJ2組から、本年5チームがJ1に昇格したことや、3チームの辞退により、残留チーム2チーム以外全てJ3からの昇格組というフレッシュな顔ぶれとなった。表彰式&懇親会での組み合せ抽選会の結果、Bパートが大激戦パートとなった。

伝統の守備力を誇るピース花は、長身から切れのいいスパイクを打ち込む大砲大川原(注目選手シリーズで紹介)が加入し、攻守にバランスが取れ、このパートで1位を狙えるだけの力がついてきた。但し、大川原にどれだけボールを集められるかにかかってくる。

対抗として、バレーセンスのいいビーナスと完成度の高いスクエアをあげる。ともに昨年度J3の1、2位チームでJ1に入れるくらいの実力がある。

結婚で子作りに励むのが心配されるVenusの浦崎(旧姓森)を中心に勝つバレーに目覚めれば、センスがいいだけに大いに期待できる。

一方のスクエアは、豊かな体格を誇り、体力で他を圧倒する。このチームから体別大会開催の要望はあったが、する前から優勝確定であろう。(参加チームはスクエアだけだろうか?)恵まれた体格の割には、俊敏で、長廣の柔らかなトス回しに素早く対応する。波に乗ればこのパートを制するだけの力はある。

昨季は、力を発揮できないまま終わる雪辱に燃えるH E A R T Sも速攻型のチームであり、悔れない。

マナーの良く爽やかなミミックもJ2に昇格したことで伸び伸びしたプレーが期待できる。

部員数No.1を誇るいちごみるくBは、何故か、メンバー編成に苦慮するのが分からないが、今回は、元八王子のエース中村をむかえ、攻撃に厚みを増した。

Aパートは、エース塚本を柱によくまとまったシートレットアップルを中心に展開されそうである。このチームは、波に乗ればいいゲームをするのだが、ボカも多い。イージーミスさえなければ、悲願のJ1昇格も見えてくるのだが?

ピース雪は、大エース大川原が抜けて攻撃力低下が懸念されるが、チームワークで頑張つて欲しい。

熱心で、直向きなバレーをするジュピターも、今回の昇格により気持ちにゆとりができ、小粒ながらも粘り強いプレーを展開できれば怖い存在になるだろう。

体格では、スクエアにひけをとらないフラップパーズ(次回よりCIMA)は、良いものを持っていて、諦めが早いような気がする。もつと粘りをみにつけていかないと上では通用しないだろう。(皆、人がいいのではありませんか?)チーム名変更の問い合わせの際、与作、田吾作はどうか?と言ったら真剣に考えたというからね」SSK談)

リセットも大砲白石の加入で攻撃力が大幅にアップし、攻守の要、田崎も守備型アタッカーとして生きてくるから楽しみがもてる。

あのフェニックスを予選会で倒したマドンナ(年齢的にマドンナという名前は響きものだとということ次回

から蘭DE夢と改正。)は長年の経験を生かした良い意味でのミニバレーをするから、本格派には強い。(関係ないですが、ナンデモ、甲斐さんは、名和さん、西田さんと同じ年ですってね?SSK談)

J2、J3は、予選パート3位以内でないとAリーグに入れないので緊迫したすさまじい試合になることが予想される。

J3は、フェニックス&五強の争い!

今回のJ3は、五強を中心に争われることになりそうなんといってもPHOENIX!各種大会を制覇してきたフェニックスがジャパンに参戦してきた。

力は、自他共に認めるところであるが、焦点は、どのチームが打ち破るかにある。井上の強打だけでなく、誰もが打てて守れる強力チーム。まるで女性版SSKが四人いるようなチームだけに大会初の全ステージ全勝優勝も期待できる。

これを迎えうつつのは、打てるセッター金子、高齢出産が心配される田中、切れ味鋭いエースアタッカー濱松、下ネタ大好き大西の無幻女子。センス抜群の中村、村上のセッター陣(もちろんアタックも十分こなせる)が、ストンキーなエース?坂崎を引っ張るシャーマン。長身ぞろいでもスタイル抜群なキャッツ。予選会トップ通過の実力チームのウエイク、ソフトバレーで鍛えた実力派カトレアYの五強が追う。

どのチームもJ1中位位の実力を持っているだけに、昇格基準の3位以内の争いが熾烈を極めるであろう。

又、PAPとriseの驚異的な進歩には驚かされたSSK曰く、「半年くらい前は、町内対抗、或いは幼稚園のママさんミニバレーレベルであったが、急速に進化した典型でしょう。このまま力をつけていけば1、2年後、全日本級(ほめ過ぎ)になるでしょう。riseに至っては、J伝その8で紹介したペンゲア&テディーさんのミニバレー教室上がりですよ!驚きですよ!」

アンダードッグもメキメキ力をつけてきたし、最高平均年齢を誇るジャスマンも、老獪なミニバレーで上位に食い込んで欲しい。今年のJ3は、話題も豊富で、目が離せない面白い試合の連続になるであろう。

デビルズ、無幻、秋桜の三強とシャーマンに期待!

男子の注目度No.1は、シャーマン!今年も、永松が体調不良のため、大会には出場できそうもない。だから強い!切れのいいスパイクを打つ、センス抜群の山口とミニバレーボール界、随一の長身を誇るアホの坂田三吉の新加入組みが、大エース増田をどれだけ補助できるかにかかると。主体性のない打ちたい男、吉崎の4人が組めば、どういふフォーメーションになるのか興味深い。

全員で回し打ちをするのではなく、山口がセッターとして他をリードしていかないと崩れる可能性もある。又、山口とウイング川元の弟姉史上初W制覇も期待できる。河野弟を、はずれもんに返した無幻は、マイケル青木の精神面に不安を感じる。はずれもんは東海ミニバレー

同好会として生まれ変わり、坂本を除き、怖いもの知らずの若さが売り。雄一がキレなければいけない。(なんでも、彼女から今度キレたら別れるといわれたらしい。)毎度、スーパースターを本部に取られるというハンデを負う秋桜は、大野次第。田上、村上のスター選手と、かつてのスター選手?宮崎と駒は十分揃っているだけに、ミスターボカ大野に勝運がかかってくる。

安定感では随一のデビルズは、穴がない。最近、頭の衰えが気になる国岡と全然、身長が伸びない小鉄共に打つてよし、守つてよしの三拍子揃った選手がチームを引っ張る。本来なら、チームを引っ張るべき高津のジャンプ力低下が懸念されるが・・・?

男子は、ズバリ、本命シャーマン。対抗デビルズ。新規参入チームもあり、激戦が予想されるが、最近若手男子の気概のなさには、正直がっかりさせられる。強いチームでプレーしたいという気持ちは分からなくはないが、「自分がチームを強くする!」という心意気が欠如しているように感じられる。「これぞ九州男児」という若手の出現を心待ちしたい。

注目選手シリーズ その3

バズーカスパイカー大川原!

ピースV21期待の大型アタッカー大川原は、170センチの長身から、切れのいいストレート、クロススをバズーカ砲のごとく打ち分ける。ミニバレー歴は浅いが、これから多くの経験を積んでいけば、とんでもないスーパーエースになるだろう。

東野中、九女(現ルーテル)と名門バレー部で、エースアタッカーとしてならしてきただけに基本はしっかりしたものがある。一日も早く、〇〇を引退に追い込み、ピースの真のエースとして頑張つて欲しいものである。

前世代!生きる化石ミニバレーボーラー健在!

戦争を知らない我々業界の中で、大東亜、朝鮮の二つの戦争動乱を力強く生き抜き、今年も現役として、シラカンス的カリスマ性で頑張るのが、名和、西田の二人。「この二人を語らずして、ミニバレーを語るべからず。」という位かれこれ40年以上ミニバレーにドップリ漬かっているそうだ。(ふくん!僕の生まれる前から



バレーをやってるんだね!By SSK)「私たち昭和生まれヨ!」って言っているじゃなくない。でも、コト・シは、昭和80年ですからあ!残念!斬り!(年金受給者大会でもしますか?)これからも、生きています。頑張つて欲しいと願っております。(合掌)

ライバルチーム?紹介

ウイングには負けない(総重量では?)スクエア!躍進著しいスピードとチームワークのウイングとスクエア。現在、リーグこそ違いますが、共に新興勢力の旗頭としてジャパンカップに旋風を巻き起こしている。



力を誇る。なんでも一年交代でメンバーを固定するそうで、昨年の戸田、鶴野の2セッター2アタッカー制から、今年も、戸田と川元が入れ替わり、1セッター3アタッカー制で臨むそうである。どちらが良いか分からないが、頼れるエース福重がいるだけに山口、川元も思い切り攻撃できる。

真剣な姿勢には好感が持てるが、敢えて言えば、もう少しスマイルが欲しい?

対するスクエアは、重さの割には俊敏な動きを見せ、どこからでも攻撃できる完成度の高いチームである。チームの核は、セッター長廣。底抜けに明るく、ボール捌きも天性的な巧みさがある。このチームの最大の特徴は、コートに対する選手の占有率が、ものすごく高いということである。つまり、攻撃されても必ず誰かの体に当たると言う超大型チーム?と言えよう。

ダイエツト宣言中らしいが、無理。むしろコート占有率を高めるようにした方が賢明であろう。

結論。コート占有率では圧倒的にスクエアに軍配を上げる。美人揃いのウイングと愛らしさ?のスクエアの直接対決が、一日でも早く実現することを祈っている。

(言葉で表現することの難しさを今回ほど痛感したことはありませんでした。更に、スクエアの写真はカメラ画面に入りきれなかったたので修正処理済)

